

<p>科目名：小児歯科学</p>		<p>必修</p>	<p>1単位(45時間)</p>	
<p>(Pediatric Dentistry)</p>				
<p>履修年次/時期：2年次 前期</p>		<p>授業形態：講義</p>		
<p>主担当教員：木本茂成</p>				
<p>実務経験：歯科医師42年、附属病院小児歯科診療科長・歯学部小児歯科学科目担当19年 臨床における小児歯科診療の実務経験を生かし、主担当教員詳細：小児の成長発達過程を理解するとともに、小児における歯科治療の特殊性について解説します。また、患児・保護者との良好な信頼関係を構築するための対応法を教授します。</p>				
<p>担当教員名：</p>				
<p>学修目的</p>	<p>小児期に疾病や創傷によって正常な発育を妨げられると、永続的な欠陥や機能障害が起こるだけでなく、後の成長発達過程にも影響を及ぼすことになる。小児歯科学の目的は、発育途上にある顎口腔系器官の正常な発育を見守り、これを障害する口腔疾患や異常の早期発見に努め、その治療と予防を行うことである。すなわち、小児期からの口腔機能の育成によって、健全な形態と機能を有する永久歯列および顎口腔系器官を完成させ、小児の健康に寄与することを目的としている。</p>			
	<p>関連するCP：CP2,CP4</p>	<p>科目No. S2C09H08</p>		
<p>この科目が目的としているDP</p>	<p>1. 医療専門職としての倫理観を有する。</p>	<p>(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。</p>	-	
		<p>(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。</p>	-	
	<p>2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。</p>	<p>(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。</p>	○	
		<p>(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。</p>	◎	
		<p>(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。</p>	○	
	<p>3. 口腔の健康支援を通し全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。</p>	<p>(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。</p>	-	
		<p>(2)優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。</p>	○	
		<p>(3)歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。</p>	○	
	<p>◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○：この講義・演習・実習と関連があるDP</p>			
	<p>到達目標</p>	<p>① 小児の全身的な成長発達について説明できる。 ② 小児の顎口腔領域の形態的、機能的発達について説明できる。 ③ 小児の成長発達に影響する疾患や異常について説明できる。 ④ 小児の健全な顎口腔形態と機能育成のために必要な疾患の予防と治療の概要について説明できる。 ⑤ 小児の健やかな育ちとその環境について配慮した歯科的対応ができる。</p>		
<p>授業概要</p>	<p>成長発達変化の著しい小児に対して、歯科衛生士としてその職務を遂行する上で、理解していなければならない必要事項と臨床の場で十分対応できる能力の基礎を教授する。さらに公衆衛生活動などにおいて、他の医療関係者と共同参画できる知識の習得を目的とする。</p>			
<p>評価方法</p>	<p>筆記試験(多肢選択問題100点満点)(100%)、その他、レポート課題を課する場合もある。(加点)、最終成績は総合評価。試験に対するフィードバックは掲示で行う。</p>			
<p>予習・復習時間</p>	<p>【予習】0.5時間 【復習】0.5時間</p>			
<p>教科書</p>	<p>歯科衛生士講座 小児歯科学 第2版 新谷誠康編集主幹 永末書店(A) 歯科国試パーフェクトマスター 小児歯科学 第5版 河上智美編著 医歯薬出版(B)</p>			
<p>参考書</p>	<p>最新歯科衛生士教本 小児歯科学第2版 大島 隆監修 医歯薬出版 小児歯科学ベーシックテキスト、クリニカルテキスト第3版 新谷誠康他編 永末書店 小児歯科学 第6版 白川哲夫他編 医歯薬出版</p>			
<p>オフィスアワー 連絡先</p>	<p>木、金 12:00～13:00、第二研究棟2階 成長発達歯科学第4研究室 s.kimoto@kdu.ac.jp ※不在時はメールでお願いします。</p>			

実施回	第1回	実施日	2026/04/09	時限	2	班	
授業計画	小児歯科学総論 小児歯科学の意義と目的 小児歯科の特徴(保健学・総合歯科) 歯科衛生士の役割 心身の発育① ①小児歯科学の意義について説明できる。 ②小児の成長発達の特徴について説明できる。 ③身体発育の評価について説明できる。 ④生理的年齢について説明できる。 ⑤器官(各臓器)の発育について説明できる。	予習	教科書(A)p.1~8、教科書(B)p.1~2、6~7を読んでおくこと。				
		復習					
		キーワード	小児歯科学の意義と目的、成長発達、身体発育、カウプ指数、ローレル指数、生理的年齢、器官の発育、臓器別発育曲線				
授業形態	講義	担当	木本				

実施回	第2回	実施日	2026/04/16	時限	2	班	
授業計画	心身の発育②(機能の発達、生理的特徴) ①小児の運動機能、言語機能発達について説明できる。 ②口腔機能(摂食嚥下)の発達について説明できる。 ③情動、社会性の発達について説明できる。 ④小児の生理的特徴を説明できる。	予習	教科書(A)p.8~18、教科書(B)p.8~14を読んでおくこと				
		復習					
		キーワード	原始反射、運動機能の発達、言語機能の発達、摂食嚥下の発達、離乳、乳児型嚥下、情動・社会性の発達、小児の生理的特徴				
授業形態	講義	担当	木本				

実施回	第3回	実施日	2026/04/23	時限	2	班	
授業計画	頭蓋と顎の成長発育、発育評価、分析法 歯の発育と異常①(乳歯・幼若永久歯の特徴) ①小児の頭蓋および顎の成長発育について説明できる。 ②顔面頭蓋および顎の成長発育の評価について説明できる。 ③乳歯と幼若永久歯の特徴について説明できる。	予習	教科書(A)p.19~29、教科書(B)p.3~5、38~41を読んでおくこと				
		復習					
		キーワード	脳頭蓋および顔面頭蓋の成長発育、成長発育の評価、分析法、乳歯・幼若永久歯の特徴				
授業形態	講義	担当	木本				

実施回	第4回	実施日	2026/04/30	時限	2	班	
授業計画	歯の発育と異常②(歯の形成、歯の発育時期と形成異常、歯の萌出と萌出異常) ①歯の正常な発育と発育時期について説明できる。 ②歯の形成異常について説明できる。 ③歯の正常萌出時期を説明できる。 ④歯の萌出障害を説明できる。	予習	教科書(A)p.30~42、教科書(B)p.15~26を読んでおくこと				
		復習					
		キーワード	歯の発育、歯の発育障害、歯の萌出時期、歯の萌出障害				
授業形態	講義	担当	木本				

実施回	第5回	実施日	2026/05/07	時限	2	班	
授業計画	歯列・咬合の発育と異常 ①歯列と咬合の発育について説明できる。 ②歯列と咬合の発育異常について説明できる。	予習	教科書(A)p.43~50、教科書(B)p.27~37を読んでおくこと				
		復習					
		キーワード	歯列・咬合の発育段階、Hellmanの歯齢、顎間空隙、霊長空隙、発育空隙、ターミナルプレーン、アグリーダックリングステージ、リーウェイススペース、口腔習癖				
授業形態	講義	担当	木本				

実施回	第6回	実施日	2026/05/14	時限	2	班	
授業計画	小児への歯科的対応と行動調整 ①小児患者への歯科的対応法について説明できる。	予習	教科書(A)p.62~73、教科書(B)p.141~149を読んでおくこと				
		復習					
		キーワード	小児患者への歯科的対応法、行動療法、TDS法、モデリング法、オペラント条件付け法、抑制的対応法、先進鎮静法、全身麻酔法				
授業形態	講義	担当	木本				

実施回	第7回	実施日	2026/05/28	時限	2	班	
授業計画	小児の歯科疾患①(小児のう蝕・歯周疾患) ①乳歯う蝕について説明できる。 ②う蝕罹患型分類について説明できる。 ③幼若永久歯う蝕について説明できる。 ④小児の歯周組織の特徴について説明できる。 ⑤小児の歯周疾患の特徴について説明できる。	予習	教科書(A)p.74~85、教科書(B)p.42~48、57~63、を読んでおくこと				
		復習					

	小児の歯肉退縮の病態について説明できる。	キーワード	小児のう蝕、う蝕罹患型分類、小児の歯周疾患、歯肉退縮
授業形態	講義	担当	木本

実施回	第8回	実施日	2026/06/04	時限	2	班	
授業計画	小児の歯科疾患②(軟組織疾患・唇顎口蓋裂) 口腔機能発達不全症 ①小児に多い口腔軟組織疾患について説明できる。 ②口腔症状を示す小児感染症について説明できる。 ③歯科治療時に留意すべき小児疾患について説明できる。 ④唇顎口蓋裂など先天異常の概要について説明できる。 ⑤口腔機能発達不全症について説明できる。	予習	教科書(A)p.85～92、93～96、教科書(B)p.95～106、154～155を読んでおくこと				
		復習					
		キーワード	リガ・フェーデ病、小帯の異常、上皮真珠、地図状舌、粘液嚢胞、ペドナーアフタ、手足口病、ヘルパンギーナ、麻疹、水痘、風疹、流行性耳下腺炎、ヘルペス性歯肉口内炎、口腔カンジダ症、猩紅熱、唇顎口蓋裂、口腔機能発達不全				
授業形態	講義	担当	木本				

実施回	第9回	実施日	2026/06/11	時限	2	班	
授業計画	小児歯科診療における補助1(小児歯科診療の基本、診察・検査) ①小児患者の診察における基本的な注意事項を説明できる。 ②小児患者の診察と検査の基本的な流れについて説明できる。	予習	教科書(A)p.97～121を読んでおくこと。				
		復習					
		キーワード	医療面接、頭部・顔面の診察、口腔の診察				
授業形態	講義	担当	木本				

実施回	第10回	実施日	2026/06/18	時限	2	班	
授業計画	小児歯科診療における補助2(局所麻酔、歯冠修復) ①小児歯科における局所麻酔法について説明できる。 ②小児患者に対する歯冠修復概要について説明できる。	予習	教科書(A)p.122～147、教科書(B)p.64～67を読んでおくこと。				
		復習					
		キーワード	小児の歯冠修復、乳歯用既製金属冠による修復、光コンポジットレジン冠修復				
授業形態	講義	担当	木本				

実施回	第11回	実施日	2026/06/25	時限	2	班	
授業計画	小児歯科診療における補助3(歯内療法) ①小児患者に対する歯内療法概要について説明できる。	予習	教科書(A)p.148～163、教科書(B)p.68～81を読んでおくこと。				
		復習					
		キーワード	小児の歯内療法、アペキシゲネーシス、アペキシフィケーション				
授業形態	講義	担当	木本				

実施回	第12回	実施日	2026/07/02	時限	2	班	
授業計画	小児歯科診療における補助4(外科処置、外傷) ①小児患者に対する外科的処置概要について説明できる。 ②小児の薬物療法の要点について説明できる。 ③小児患者に対する外傷処置概要について説明できる。	予習	教科書(A)p.164～184教科書(B)p.82～94を読んでおくこと。				
		復習					
		キーワード	小児患者への外科的処置、乳歯抜歯、抜歯時の注意点、小児薬物療法、小児の歯の外傷、外傷の受傷頻度、外傷への対応				
授業形態	講義	担当	木本				

実施回	第13回	実施日	2026/07/09	時限	2	班	
授業計画	咬合誘導 ①小児患者に対する咬合誘導の概要について説明できる。 ②各種保険装置の概要について説明できる。 ③口腔習癖への対応について説明できる。	予習	教科書(A)p.185～193、教科書(B)p.107～121を読んでおくこと。				
		復習					
		キーワード	咬合誘導、保険、可撤保険装置、クラウンループ、ディスタルシュー、リンガルアーチ、ナンスのホールディングアーチ、動的咬合誘導、口腔習癖				
授業形態	講義	担当	木本				

実施回	第14回	実施日	2026/07/16	時限	2	班	
-----	------	-----	------------	----	---	---	--

授業計画	う蝕の予防と進行抑制・定期管理 ①小児う蝕に予防法について説明できる。 ②う蝕の進行抑制処置について説明できる。 ③定期健診(リコール)の意義について説明できる。	予習	教科書(A)p.194~227、教科書(B)p. 49~56を読んでおくこと		
		復習			
		キーワード	小児う蝕の予防法、定期健診の意義、う蝕の進行抑制処置		
授業形態	講義	担当	木本		

実施回	第15回	実施日	2026/07/23	時限	2	班	
授業計画	まとめ	予習	これまでに配布した資料、確認テスト問題などすべての資料、教科書を持参すること				
		復習					
		キーワード					
授業形態	講義	担当	木本				